令和6年度学校経営報告　　八王子市立中山中学校

学校の教育目標	校訓「自主　創造　協力」 よく勉強し、よく働き、そしてよく鍛える生徒
目指す学校像	「楽しい学校　誇れる学校」 生徒が自らの進路を自らの手で切りひらく力を育成する学校

今年度の重点課題についての成果と課題	①生徒理解に基づく生徒指導	・楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-Uを全学年で2回実施、その結果を学級経営に生かした。教職員によるきめ細かな日常の見取り、「心の週間」などにおける相談活動、温かい人間関係を基盤とした学級指導や部活動指導をを通して生徒の心の安定を図り、生徒が相談しやすい環境を整えた。 ・月曜のいじめ対応の時間、木曜の校内いじめ対策委員会を活用して、年間通していじめや生徒間トラブルに組織的に対応した。 ・特別支援コーディネータ及び特別支援専門員を通して学校サポーターを組織的に活用し、別室登校等特別に支援が必要な生徒にきめ細かな対応を行った。関係諸機関との連携を図りながら、次年度も個別のケースに対応していく。
	②「わかる実感」「できる喜び」をどの子にも味わわせる取組	・生徒が学習用端末を家庭に日常的に持ち帰り、課題学習やドリル等家庭学習や自主学習に活用した。「個別最適な学び」「協働的な学び」を取り入れた授業展開については課題のある教科も多い。小中一貫中山中グループの児童・生徒の課題である思考力、判断力、表現力等の育成に加え、主体的に学ぼうとする態度の育成を目指して次年度も研究していく。 ・適正な学習評価については、指導と評価の一体化を目指し、学習指導要領の趣旨を踏まえた校内研修を実施した。特に第2観点（思考・判断・表現）、第3観点（主体的に学ぼうとする態度）が課題である。次年度も研修を続け、生徒・保護者にわかりやすい学習評価が実施できるようにする。 ・放課後学習教室や質問教室を運営し、自習室を年間通して開放した。特に質問教室については、学力強化週間（年4回）に学年ごとに実施され、自主的に学習する生徒の育成につながった。次年度も継続する。
	③自己有用感や自己効力感等、自尊感情を育む活動	・生徒を主体とした学校行事（体育祭、音楽祭、修学旅行、移動教室、校外学習等）で多くの生徒が自己有用感や所属感を味わえた。構成的グループエンカウンターの研修を次年度も継続し、さらに自己有用感や所属感を味わえるような学級経営を全学級において充実させる。 ・生徒会や委員会活動を通して生徒が当事者意識をもって企画・提案し、協働して解決できるよう年間通して取組んだ。生徒会執行部、各種委員会において生徒の自治的な活動が見られるようになった。 ・学運協による「花一輪」活動や青少対あいさつ運動、クリーン作戦等、生徒の情操や健全育成に資する活動、地域防災訓練への参加を通して様々な大人と関わる教育活動が実施できた。職場体験（2年）では、２６事業所に協力をいただき生徒のキャリア意識を高める体験学習を実施することができた。
	④八王子市の方針に基づく部活動改革の推進	・１１月中旬から１月末までウインタータイムを導入し広域部活動や校外の活動にも取り組みやすいよう時間を確保した。生徒にも好評であった。 ・令和８年度に向けて家庭・地域との連携により持続可能な学校部活動への移行を進めロードマップを作成した。特色ある部活動として２学期よりバスケットボール部と陸上競技部において小学生部員を受け入れた。複数の部活動を新規募集停止し現在ある部を整理統合し、次年度からインドア部とアウトドア部を立ち上げるとともに近隣中学校と連携して広域部活動の連携を図る。 ・健全な居場所づくりとして「中山カフェ」や地域クラブ、保護者組織に対して、学校施設の開放を進める準備を行った。次年度は学校運営協議会が主催しお話しサロン「風」を立ち上げ、毎週原則月曜に会議室で運営する。

領域	経営	短期的経営目標	具体的な取組の状況	評価指標の達成状況
主体的に学び、行動する生徒 ～よく勉強し～	○基礎・基本の定着　○思考力、判断力、表現	基礎・基本の定着	・年間を通して数学と英語の習熟度別指導を実施し、個に応じた指導を展開した。 ・学力強化週間における質問教室、自習室の開設、週3日の放課後学習教室（国・数・英）を実施した。 ・3人の学校サポーターを組織的に活用し月～金まで個別に支援が必要な生徒への対応にあたった。	◎学校は授業において、説明、板書、話合い活動、ICT機器（の活用などの工夫に取り組んでいる・・保護者アンケート65%以上⇒**88%** ・・・生徒アンケート60%以上⇒**93%** ○学習活動に対する評価は適切・公平である ・・・保護者アンケート80%以上⇒**80%** ・・・生徒アンケート60%以上⇒**95%** ◎放課後学習教室、質問教室等の開催状況・・・計画通り実施 ◎学習用端末の持ち帰り及びドリルコンテンツの活用状況 ・・・日常的に持ち帰り、ドリルや長期休業中の課題に活用 △はちおうじっ子ミニマム達成状況・・・未達。再チャレンジ。 ○英語検定、漢字検定の受験状況・・予定通りの回数実施
		学習習慣の定着	・学校運営協議会の主催による英語検定（2回）、漢字検定（2回）を中山小と連携して実施した。 ・一人一台の学習用端末を日常的に持ち帰り、家庭学習におけるドリルコンテンツの活用を図った。	
		学習意欲の向上	・「わかる実感、できる喜び」を目指した授業改善のため、管理職による授業観察を実施した。 ・各教科及び総合的な学習の時間において、ICT及び1人1台の学習用端末を活用した授業を展開した。 ・1学期末に指導主事を招き、適正な評価について校内教員研修を実施した。1学期初め、2学期初めに生徒に対して、学習評価のポイントについて各教科で説明を行った。	
互いを認め、支え合う生徒 ～よく働き～	○主体性、協調性、思いやりの心の醸成　○規	いじめへの組織的、計画的な対応	・「中山中いじめ防止基本方針」に基づき、「ふれあい月間」「いじめ・いやがらせアンケート」等、いじめの早期発見、対応を図る取組を年間を通して行った。 ・いじめ対応の時間（月曜）、校内いじめ対策委員会（木曜）を定例開催し情報共有、組織対応を行った。 ・心の週間や二者面談、各学級の日記指導を実施し、大人に相談しやすい環境をつくった。 ・「SOSの出し方に関する教育」「いじめ防止プログラム」を実施、いじめの未然防止を図った。	◎研修会の実施・・・Q-U研修2回（8月、12月） ・・・いじめ防止研修3回（6月、11月、2月） ・・・アンガーマネジメント（9月） ○学校（先生たち）はいじめの未然防止への取組、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる ・・・保護者アンケート70%以上⇒**81%** ・・・生徒アンケート80%以上⇒**80%** ◎中山中の子供たちは楽しそうに学校生活を送っている ・・・保護者アンケート85%以上⇒**90%** ◎毎日の学校生活が楽しい・・・生徒アンケート80%以上⇒**91%** ○子どもの学級では授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている　・・・保護者アンケート80%以上⇒**90%** ○先生たちは落ち着いて学習できる学級づくりに取り組んでいる ・・・生徒アンケート85%以上⇒**91%** ◎情報モラル教育の実施 ・・・セーフティ教室（5月）、メディアリテラシー教室（3月）
		安心できる居場所づくり	・楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U（年2回）を活用し、生徒一人一人が安心して学校生活を送れるよう学級経営を充実させるために講師を招いた校内研修会を年2回実施した。 ・ 生徒主体の生徒会活動、学校行事を実施し、はちおうじっ子サミットに向けた取組、体育祭、音楽祭、修学旅行、移動教室等、生徒の所属感や自尊感情、リーダーシップを育む取組を行った。	
		社会や集団におけるルールとマナー	・年間通してノーチャイムを実施し、生徒が自主的・自律的に規則正しい生活を送れるよう働きかけた。 ・各学年学級において、係や班活動などを工夫し、生徒の自主的、自律的な取組を展開した。 ・セーフティ教室（全学年）、情報モラル教育（2年）を実施しSNSルールを確認、トラブル防止を図った。	
夢をもち、自己実現を目指す生徒 ～よく鍛える～	○自ら進路を切りひらく力の育成　○自己肯定感・	体力向上・健康増進、安全教育	・体力テストや調査の結果を体育の指導に活かし、生徒の実態に即した授業を展開した。 ・保健だよりの毎月発行を通して、健康増進への意欲を喚起した。 ・避難訓練（毎月）、救急救命講習と地域防災訓練（11月）、いのちの教育（赤ちゃんふれあい授業、八王子いのちの大切さを共に考える日等）を実施した。	◎学校は児童・生徒が安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。　・・・保護者アンケート70%以上⇒**93%** ・・・生徒アンケート80%以上⇒**92%** ○地域の総合防災訓練等への参加状況 ・・・11月に地域防災訓練（北野台）に生活委員会が参加、1学年が救急救命講習を受講した。 ◎学校は「はちおうじっ子　キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っている。 ・・・保護者アンケート70%以上⇒**98%** ・・・生徒アンケート70%以上⇒**90%** ◎学校（先生たち）は学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる ・・・保護者アンケート80%以上⇒**80%** ・・・生徒アンケート80%以上⇒**89%** ◎三者面談の取組 ・・・夏季休業中（3学年、1,2学年の希望者）と12月に実施 ◎特別支援教室の運営における連携 ・・・毎週の校内委員会で情報共有
		キャリア教育の充実	・総合的な学習に時間において、1年で職業調べ、2年で職場体験とジョブトーク、地域と連携した体験的な学習を実施し、3年時に自らの進路を自分で決定できるよう系統的なキャリア教育を実施した。 ・3学年において保護者と生徒が同席する形の進路説明会を2回開催した。 ・3階フロアに自習室を設置し、自ら学び学力を向上させようとする生徒を支援した。 ・はちおうじっ子キャリア・パスポートに担任がコメントを記入し、生徒が自らの成長を振り返り将来を展望できるよう家庭と連携して指導した。	
		教育相談・特別な支援体制の充実	・毎週木曜に教育相談部会を定例開催し、SC、SSWや関係機関と連携して保護者や生徒の相談に組織的に対応した。別室登校等についてもきめ細かく対応した。 ・特別支援コーディネーターや特別支援専門員を通して小学校やあじさい教室と連携した支援を行った。	
地域に愛される学校	○家庭・地域との連携　○小中一貫教育	家庭・地域との連携 開かれた学校	・ホームページや学校だよりを適時更新・発行し学校の様子を発信することができた。 ・学校運営協議会を10回開催し年間を通して学校の課題解決に資する意見交換を行うことができた。	◎学校は地域運営学校として、地域とともにある学校づくりを推進している　・・・地域アンケート90%⇒**89%** ◎学校が力を入れて行っている取り組み（あいさつの励行等）について 知っている　・・・保護者アンケート85%以上⇒**100%** ◎自分は学校が力を入れている取組（あいさつの励行等）を知っている　・・・生徒アンケート85%以上⇒**95%** ◎近隣の小学校と一緒に行う取組について知っている ・・・保護者アンケート90%以上⇒**98%**、 生徒アンケート80%以上⇒**85%** ◎学校は、保護者（地域）に対して適切に情報発信を提供している ・・・保護者アンケート80%以上⇒**98%** 地域アンケート70%以上⇒**100%**
			・青少対、近隣小学校と連携し、学期に1回の「あいさつ運動」を継続した。 ・青少対クリーン作戦（10月）、合同防災訓練（11月）に生徒が参加、地域とのつながりを深めることができた。 ・学運協、PTA杉の沢会との共催で、第2回「中山カフェ」を開催し生徒と地域、保護者との交流を深めた。	
		小中一貫教育の推進	・3校経営会議を開催、中山小学校・高嶺小学校とともに育てたい児童・生徒像を共有した。 ・年3回の授業参観と研究協議、1学期に部活動紹介、引渡し訓練、夏休みに部活動見学、2学期に職場体験、3学期に小学生体験授業、リトルティーチャーの派遣等を行い、教職員・児童・生徒の交流を図った。 ・小学生部員を募集し、バスケットボール部と陸上競技部で2学期から週に1回ずつ活動した。	
その他		服務の厳正 教職員のライフ・ワークバランス	・年間3回の服務事故防止研修と職員会議、職員朝会等で服務事故を起こさないよう、年間を通じて注意喚起と指導を行った。 ・学校閉庁日、ノー残業デーの実施、C4thの活用を通して職員の意識向上を図り、保護者、地域の理解を促進した。	○服務事故防止研修を4月、7月、12月に実施し、意識向上を図った。 ○学校閉庁日を夏季休業日に実施、年間を通してC4Thのメール機能等を活用。職員の時間外在校時間がさらに減少した。

次年度の重点課題	
	①中山中学校グループにおける小中一貫教育の推進（児童・生徒交流の活性化、学力定着プロジェクト、健全育成上の連携） ②生徒理解に基づく生徒指導の充実（いじめへの組織的対応、不登校へのきめ細やかな支援、Ｑ－Ｕの活用） ③「わかる実感」「できる喜び」を味わわせる授業改善（個別最適な学びと協働的な学び、ＩＣＴの日常的な活用、適正な学習評価） ④生徒の自尊感情を育む教育活動の充実（生徒主体の学校行事、生徒会及び委員会活動の一層の充実、構成的グループエンカウンターを活用した学級経営） ⑤本校の校風「文武両道」を高める教育活動の推進（部活動改革、地域と連携した安心安全な居場所づくり、週２７コマ授業及びウィンタータイムの効果的な運用）